

Artists in FAS

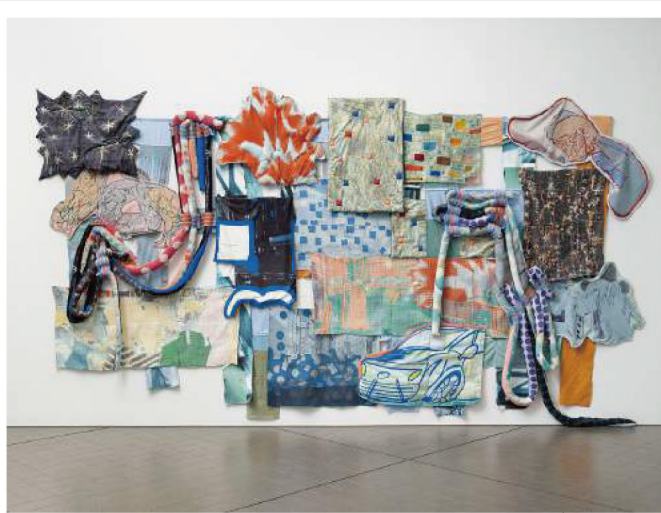
制作・展示支援プログラム 2023

2023

10.21 [土] - 1.14 [日]

2024

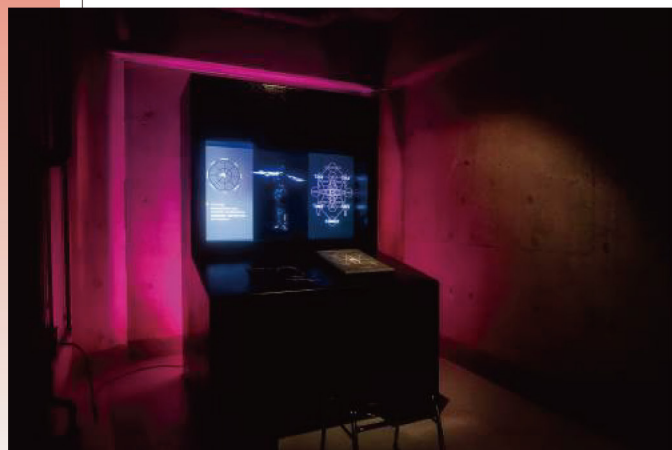
メランカオリ「山羊と水瓶」
「微晶にまみれた帯の遍歴」より2020年
撮影：下川晋平



小島平莉《ナラティブとダイアログ》2023年 撮影：末正真礼生

入選アーティストによる

成果発表展



宍倉志信《Cyber Reincarnation Seminar》2021年

宍倉 志信

SHISHIKURA Shinobu

吉田 裕亮

YOSHIDA Hiroaki



吉田裕亮《監房装置 特別病室を出口に設置する》2021年

藤 沢 市 アー ト ス ペ ース

Fujisawa City Art Space

10:00-19:00

※入場は 18:30 まで

入場無料

休館日 月曜日 /

2023年12月28日～2024年1月4日 /

2024年1月8日[月・祝]は開館、翌9日[火]は休館

会場 藤沢市アーツスペース
ココテラス湘南ビル内共用スペース

主催 藤沢市 / 藤沢市教育委員会

後援 神奈川新聞社 / 株式会社ジェイコム湘南・神奈川
レディオ湘南

特別協力 一般財団法人藤沢市開発経営公社

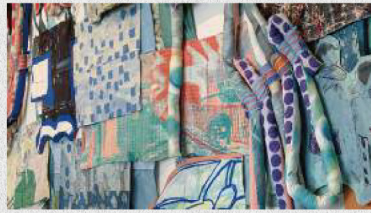
協力 公益財団法人藤沢市みらい創造財団

「Artists in FAS」は、藤沢市アートスペース（以下、FAS）が多様な創作活動に携わるアーティストたちに、制作の場と発表の機会を提供するアーティスト・イン・レジデンスプログラムです。8回目となる今回は、各地から74件の応募があり、外部審査員（小林耕平氏〔美術家〕、保坂健二郎氏〔滋賀県立美術館ディレクター〕）によって、映像、写真、テキスタイル、インスタレーションなどを手掛ける4名が選出されました。入選アーティストたちは、展覧会に先立ち7月からの約3カ月間、作品制作のために近隣をリサーチし、FASのレジデンスルームで滞在制作を行いました。その成果を本展にて発表します。湘南の人々や風土に触れた経験が結実した作品に、どうぞご期待ください。



こじま へいり
小島 平莉
KOJIMA Heiri

神奈川県生まれ。2023年多摩美術大学美術学部生産デザイン学科テキスタイルデザイン専攻卒業。2022年グラスゴー芸術大学（交換留学）。主な展示に、2023年2人展「ゆめごち」（ギャラリー懐美館 / 東京）、多摩美術大学卒業制作優秀作品選抜展（多摩美術大学アートテーク棟）、国際共同教育プロジェクト connecting wool（ノルウェー大使館）など。「対話」について考え、テキスタイルを使った半立体作品やインスタレーションを制作する。人やもの間で起こる相互作用を捉えるように形にしていく。



《ナラティブとダイアログ》(部分)2023年 撮影:末正真礼生



ししくら しのぶ
宍倉 志信
SHISHIKURA Shinobu

京都府生まれ東京で育ち。2021年東京藝術大学映像研究科メディア映像専攻修了。主な展示に2021年個展「Cyber Reincarnation Seminar」、2022年グループ展「惑星ザムザ」など。物語や思想を単なるフィクションではなく、実在性を持った信仰として人間に入力する装置としての「儀式」に興味を持っている。これまで祭壇やコンピューターゲーム、レクチャー的映像、健康機器、スロットマシンなど、既に確立された美術表現の形式に縛られることのない制作を通じて、そうした儀式的体験のこれからあり得る可能性を探ってきた。



《P.S.Installer_惑星ザムザ》2022年



めらんかおり
メランカオリ
MELANKAORI

東京都生まれ。2017年東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了。主な展示に、2018年グループ展「明け方の計略」（駒込倉庫 / 東京）、2018年「黄金町パザール 2018」（神奈川）、2021年「紀の国トレイナート 2021」（和歌山）など。企画した古いワークショップに、2022年「碗の旅打ち」（脱衣所 / 東京）。2016年「ゲンビどこでも企画公募 2016 藤本由紀夫賞」（広島市現代美術館 / 広島）受賞。現在、茨城県で古文講師や地球儀の加工の仕事しながら、「病院・刑務所・墓場に行き場がないものたちの管理人」という肩書きで独自の占いによる制作活動をしている。



《土星プロレス》2018年 撮影:越間有紀子



よしだ ひろあき
吉田 裕亮
YOSHIDA Hiroaki

群馬県生まれ。2018年東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業。主な展示に、2016年個展「OVERLAP」（トーキョーワンダーサイト渋谷 / 東京）、2022年グループ展「DAZZLER」（京都芸術センター / 京都）など。権力に不都合な主体が不当に扱われてきた制度や技術の基盤となっている構造に関心を持って作品制作を行っている。主にハンセン病における患者の強制隔離に関するリサーチを基に、国民精神や感情がどのように形成されたのかを考察している。



《健民になるための建築》2022年 撮影:守屋友樹

関連イベント	入選アーティストと審査員による トークセッション	2023年10月21日(土)	14:00-16:00	参加費: 無 料
ワークショップ	「形をかさねる、えがく、つなげる」	2023年10月28日(土)	13:00-15:00	講師: 小島 平莉 参加費: 500円
	「メランカオリの占いワークショップ」	2023年10月29日(日)	15:00-17:30	講師: メランカオリ 参加費: 無 料
	「祝日の意味を考えるフォトスナップ体験!」	2023年11月23日(木・祝)	13:30-15:00	講師: 吉田 裕亮 参加費: 500円
		2023年11月26日(日)	13:30-15:00	

*いずれも要事前申込。詳細や申し込み方法、その他のイベントについては、藤沢市アートスペースのウェブサイト、SNSをご確認ください。

【電車】 JR「辻堂」駅 東口改札北口出口から徒歩5分
【バス】 神奈川中央交通「神台公園前」下車すぐ
FASに専用駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

〒251-0041
神奈川県藤沢市辻堂神台 2-2-2 Cocco Terrace 湘南 6階
TEL 0466-30-1816
E-mail fj-art@city.fujisawa.lg.jp
HP <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/bunka/FAS>



藤 沢 市 アー ト ス ペー ス
Fujisawa City Art Space

